

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果について

4月に実施いたしました6年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」の結果につきまして、本校の概要と課題、今後の取組についてお知らせします。6年生については、本日、個人票を配付しております。

なお、「国語」「算数」「理科」の概要については全国と本校の調査結果における「平均正答率」を比較して説明しています。「児童生徒質問」については、「肯定的」な回答を比較して説明しています。

【小学校国語】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

手稲鉄北小学校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
1.「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 2.「情報の扱い方に関する事項」 ・全国平均を上回っている。 3.「我が国の言語文化に関する事項」 ・全国平均を上回っている。 4.「話すこと・聞くこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 5.「書くこと」 ・全国平均を下回っている。 6.「読むこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	1 ▼学年別漢字配当表に示されている漢字を文章の中で正しく使うこと。 5 ▼書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ▼図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ▼目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	1 □熱い・暑い・厚いなどの同音異義語については、漢字のもつ意味を考えて使い分ける学習活動の充実。 5 □書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考える学習活動の充実。 □引用したり、図表やグラフを用いたりするなどして書き表し方を工夫し、自分の考えが伝わるように文章を書く活動の充実。 

【小学校算数】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

手稲鉄北小学校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
1.「数と計算」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 2.「図形」 ・全国平均を上回っている。 3.「測定」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 4.「変化と関係」 ・全国平均を上回っている。 5.「データの活用」 ・全国平均を上回っている。	1 ▼異分母の分数の加法の計算をすること。 例) $1/2 + 1/3$ を計算しましょう。 3 ▼はかりの目盛りを読むこと。 例) はかりの針がさしている目もりは何gですか。答えを書きましょう。	1 □分数の加法及び減法の計算の仕方を分数の意味や大きさに着目して考える活動の充実。 3 □身の回りのものの大きさを単位を用いて表現する活動の充実。その際、示されたはかりの最小目盛りの大きさに着目すること。

【小学校理科】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

手稲鉄北小学校の概要

【領域】

1.「エネルギー」を柱とする領域

・全国平均とほぼ同程度であるが、**やや下回っている**。

2.「粒子」を柱とする領域

・全国平均とほぼ同程度であるが、**やや下回っている**。

3.「生命」を柱とする領域

・全国平均とほぼ同程度であるが、**やや上回っている**。

4.「地球」を柱とする領域

・全国平均を**上回っている**。



今回の調査における課題

1 ▼身の回りの電気を通す物と磁石に引き付けられる物との差異点や共通点について理解すること。

▼電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識を身に付けること。

2 ▼水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現すること。

▼「水が温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現すること。

3 ▼レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現すること。

改善の方向

1 □物質の性質に関する理解を深めるために、学習した知識を既定の内容や他の学習や生活と関連付け、習得した知識を整理する学習活動の充実。

2 □結論を見いだす過程において、結果そのものと、そこから言えること（考察）を区別して、より妥当な考えをつくりだすことができるよう、子どもの表現を整理する教師の関わりの充実。

3 □問題を見いだす力を育むために、観察、実験の結果を比較して、差異点や共通点を基に、具体的な条件に着目し、一人一人が見いだした問題をノートなどに書くなどの、思考し、表現する活動の充実。

総括～教科の課題と今後の取組

国語：表現力と構成力の強化

■国語では、情報を読み取る力や言語文化に関する知識は全国水準を上回っていますが、「書くこと」の分野が全国平均を下回ったという結果になりました。特に、自分の考えを分かりやすく伝えるために、文章の構成（段落づくり）を工夫したり、図表などを使って表現を工夫したりする力の育成が急務です。今後は、意図を明確にして書く活動を充実させていきます。

算数：「測定」と「計算の意味」の理解

■算数では、図形やデータの活用など多くの分野で全国平均を上回る良い結果でしたが、「測定」の分野が全国平均をやや下回りました。具体的には、はかりの目盛りを正確に読むなど、身の回りのものを単位を用いて表す学習を強化します。また、分数の計算（異分母の加法）で課題が見られたため、分数の「意味」や「大きさ」に着目した基礎的な学習を徹底します。

理科：思考力と考察力の向上

■理科は、「地球」分野で全国平均を上回る一方、「エネルギー」と「粒子」分野がやや下回りました。知識の習得だけでなく、観察や実験の結果から「なぜそうなるのか（考察）」を論理的に考える力や、学習した知識を生活や他の知識と関連付けて整理する力に課題が見られます。今後は、単なる知識の暗記に終わらず、考えを整理し、結論を導き出す過程を重視した授業を展開していきます。

【児童生徒質問】

人間尊重に係る質問

【相互承認の態度】の視点

A:自分には、よいところがあると思う子どもの割合

・全国平均を上回っている。

B:先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う子どもの割合

・全国平均を上回っている。

【「自分が大切にされている」と実感できる学校】の視点

C:困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる子どもの割合

・全国平均を上回っている。

D:学校に行くのが楽しいと思う子どもの割合

・全国平均を下回っている。

E:普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある子どもの割合

・全国平均を上回っている。

さっぽろっ子自治的な活動に係る質問

【自治的な活動】の視点

F:あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う子どもの割合

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

G:学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると回答した子どもの割合

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。



個別探究的な学習に係る質問

【主体性】の視点

H:授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う児童の割合

・全国平均を下回っている。

【個別探究】の視点

I:授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていたと思う子どもの割合

・全国平均を上回っている。

【協働探究】の視点

J:授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると回答した子どもの割合

・全国平均を上回っている。

【リフレクション(振り返り)】の視点

K:学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげるのができていると思う子どもの割合

・全国平均を下回っている。

L:授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思う子どもの割合

・全国平均を上回っている。

【自分の考え】の視点

M:授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表したと思う子どもの割合

・全国平均を下回っている。

N:授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていたと回答した子どもの割合

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

【教師の関わり】の視点

O:先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思う子どもの割合

・全国平均とほぼ同程度であるが、上回っている。

ICT の活用に係る質問

【活用頻度】の視点

P:授業では、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。

	1. ほぼ毎日 (複数授業)	2. ほぼ毎日 (1授業くらい)	3. 週3回以上	4. 週1回以上	5. 月1回以上	6. 月1回未満
本校	19.4	31.1	31.1	10.7	5.8	1.9
全国	24.5	22.2	25	18	7.2	3.1

・「項目1(ほぼ毎日)～項目3(週3回以上)」までを合計した割合が全国平均を上回っている。

【活用頻度】の視点

Q:

29-1 PC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くことなど)ができると思う。

29-2 インターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ができると思う。

29-3 PC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思う。」

29-4 PC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思う。

	29-1	29-2	29-3	29-4
本校	19.4	31.1	31.1	10.7
全国	24.5	22.2	25	18

・設問29-1、29-4において全国平均を下回っている。

・設問29-2、29-3においては全国平均を上回っている。

■A～O の数値は、肯定的な回答をした児童生徒の割合

	全国	本校(R7)	R6年度
A	84.1	87.4	88.9
B	89.9	97.1	95.5
C	67.1	72.8	77.7
D	91.7	87.4	93.3
E	84.8	90.3	90.0
F	81.9	81.5	88.9
G	84.3	86.4	88.9
H	91.6	85.5	96.7
I	80.8	86.4	88.9
J	83.7	93.2	90.0
K	87.9	82.6	93.4
L	84.2	89.3	90.0
M	82.5	69.9	87.8
N	83.5	82.6	91.1
O	85.5	87.3	94.4

※昨年度(R6)の割合はあくまでも参考資料です。



手稲鉄北小学校キャラクター

キラ★りん

総括(児童生徒質問)～学校生活と学習への姿勢

児童への質問では、教師や学校に対する高い信頼感と、学習への意欲に関する課題が明らかになりました。

児童の安心感と自信は高い水準

多くの児童が「自分には良いところがある」(A)と感じており、先生がそれを「認めてくれている」(B)と感じています。また、困りごとがあるときに先生に「いつでも相談できる」(C)という回答も全国平均を上回っており、児童が学校で高い安心感をもっていることが分かりました。

課題:主体性・振り返り・楽しさの向上

一方で、学習面では特に次の3点が全国平均を下回り、改善すべき重要な課題となりました。

主体性(自分から取り組む):授業で「自分で考え、自分から取り組んでいった」(H)と感じる児童の割合が全国平均を下回っています。

振り返り(リフレクション):学習内容を「見直し、次の学習につなげる」(K)ことができていると感じる割合が全国平均を下回っています。

表現力:自分の考えを「工夫して発表した」(M)と感じる児童の割合が、全国平均を大きく下回っています。

これらの結果は、単に知識を教えるだけでなく、児童が自ら課題を見つけて工夫し、表現し、そして振り返るという一連の主体的な学習活動が不足していることを示唆しています。また、この学習面の課題と連動するように、「学校に行くのが楽しいと思う」(D)児童の割合も全国平均を下回っています。

ICT活用:頻度は高いがスキルに課題

PC・タブレットなどのICT機器の利用頻度は高く、「ほぼ毎日～週3回以上」(P)の利用が全国平均を上回っています。しかし、ICT機器を使った「文章作成」(Q29-1)や「プレゼンテーション資料作成」(Q29-4)のスキルについては、全国平均を下回っています。今後は、機器を単なる調べ学習に使うだけでなく、自分の考えを表現し、発表するためのツールとして使いこなす力を育成していきます。

学校としての改善の方向性

今後は、教科指導と児童質問の結果を照らし合わせ、児童の「主体性」「表現力」「振り返る力」の向上を柱に据えた指導を強化し、学習の充実を通じて「学校に行く楽しさ」を高めていくよう、全職員で取り組んでまいります。引き続き、御理解と御協力をお願いいたします。